

Ver 1.1

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙  
モニタリング計画書

プロジェクト名	大和ハウス工業(株)伊達市大滝区社有林『共創共生の森』での 間伐促進によるCO2吸収事業
プロジェクト代表事業者名	大和ハウス工業株式会社 上席執行役員本店長 上 川 幸 一

提出日 2011年11月21日受理日 2011年11月21日最終版提出日 2012年1月6日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	北海道伊達市大滝区優徳340番外、北湯沢191-1外に立地する22、26、27、28年生のトドマツ林分	CO2	
地下部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。	北海道伊達市大滝区優徳340番外、北湯沢191-1外に立地する22、26、27、28年生のトドマツ林分	CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス				該当なし
地下部バイオマス				該当なし
植生除去				該当なし

**II. 算定式（方法論項目5）**

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。

$$\Delta C_{FM} = \Delta C_{AG} + \Delta C_{BG}$$

$\Delta C_{AG}$  地上部バイオマス中の年間CO2吸収量(t-CO2/年)  
 $\Delta C_{BG}$  地下部バイオマス中の年間CO2吸収量(t-CO2/年)

年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合計	備考
CO2吸収量	87	353	552	603	1595	(t-CO2/年)

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{AG\ i} = \sum_i \Delta C_{AG\ i} = \sum_i (Area_{Forest\ i} \times \Delta Trunku_{SC\ i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12)$$

$\Delta C_{AG\ i}$  森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地上部バイオマス中の年間CO2吸収量(t-CO2/年)  
 $Area_{Forest\ i}$  階層iにおいて森林経営活動(間伐)が実施された樹種別・林齢別の森林面積 ※2007年4月以降の累積面積とする。  
 $\Delta Trunku_{SC\ i}$  収穫予想表に基づく、階層iにおける単位、面積当りの幹材積の年間成長量(m3/ha/年)  
 $BEF_i$  階層iにおける幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数  
 $WD_i$  階層iにおける成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数(t/m3)  
 $CF$  樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率(0.5)  
 $i$  1,2,3,...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合計	備考
CO2吸収量	72.6	291.7	456.4	499.0	1319.7	(t-CO2/年)

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{BG\ i} = \sum_i \Delta C_{BG\ i} = \sum_i (\Delta C_{AG\ i} \times R_{ratio\ i})$$

$\Delta C_{BG\ i}$  森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地下部バイオマス中の年間CO2吸収量(t-CO2/年)  
 $R_{ratio\ i}$  階層iにおける地上部バイオマス中の年間CO2吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数  
 $i$  1,2,3,...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	合計	備考
CO2吸収量	15.2	61.2	95.8	104.8	277.0	(t-CO2/年)

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

グロースネット計上方式の場合、人為的な活動(間伐)が実施されていない土地は吸収量算定の対象とならないため、ベースライン吸収量はゼロとなる

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

該当なし

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なる活動量 の説明				モニタリング 方法ガイ ドラインに あるパター ンから選 択)	事業者自ら 実測を行う 場合、具 体的な測定 方法を記入 (記入され た測定方法 により、第 三者が同じ 調査を実施 できるよう 詳細情報を 記入のこと)		
モニタリング ポイントの番 号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を 記入(同一小 班名は識別 可能な方法 で記述)			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング方 法ガイドライン を参照し、測 定機器のキャ リブレーション・点検等 を行ったか、また、行 うかをチェックする	キャリブレー ション・点検 等実施・予定 日	想定吸収量 の算定に使用 した値を 記入  ( ha )	①間伐施業年(林齢) ②モニタリンググループ ③高圧線下除外後 ④小班分割
1	1063林班 0006小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和58年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	4.16	①2011年度(29) ②MP1グループ ③小班4.52ha－高圧線下0.36ha ＝4.16ha(高圧線下は実測)
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和56年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	7.20	①2011年度(28) ②MP1グループ ④小班 7.20ha、 7.32ha、 9.48ha に分割
2-2	1063林班 0009-2小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和56年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	7.32	
2-3	1063林班 0009-3小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和56年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	9.48	
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	3.74	①2010年度(29) ②MP3グループ ③小班6.48ha－高圧線下0.57ha －高圧線下0.19ha＝5.72ha (高圧線下は実測)
3-2	1063林班 0012-2小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	0.36	
3-3	1063林班 0012-3小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	0.50	
3-4	1063林班 0012-4小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	1.12	

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
		方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なる活動量 の説明				モニタリング 方法ガイド ラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)		
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング方 法ガイドライン を参照し、測 定機器のキャ リブレーション・点検等 を行ったか、また、行うかを チェックする	キャリブレー ション・点検 等実施・予定 日	想定吸収量 の算定に使 用した値を 記入  ( ha )	①間伐施業年(林齢) ②モニタリンググループ ③高圧線下除外後 ④小班分割
4	1063林班 0013小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	13.52	①2010年度(29) ②MP3グループ
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	6.68	①2010年度(29) ②MP4単独 ③小班10.00ha－高圧線下 1.75ha =8.25ha
5-2	1063林班 0014-2小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和57年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	1.57	
6	1063林班 0015小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和58年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	12.40	①2010年度(28) ②MP2グループ
7(MP2)	1063林班 0016小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和58年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	3.60	①2010年度(28) ②MP2グループ
8-1	1063林班 0019-1小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和58年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	5.81	①2011年度(29) ②MP2グループ ③小班8.00ha－高圧線下1.30ha =6.70ha
8-2	1063林班 0019-2小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和58年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	0.89	
9	1063林班 0020小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和59年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	0.84	①2011年度(28) ②MP1グループ
10	1071林班 0034小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合に おいてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタ リング時実施	○	植栽時・モニタ リング時実施	2.60	①2009年度(22) ②MP5グループ

モニタリングポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となる活動量の説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるように詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検等実施・予定日	キャリブレーション・点検等実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入 ( ha )	①間伐施業年(林齢) ②モニタリンググループ ③高圧線下除外後 ④小班分割
11(MP5)	1071林班0035小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	2.52	①2009年度(22) ②MP5グループ
12	1072林班0036小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	1.80	①2009年度(22) ②MP5グループ
13	1072林班0038小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	3.52	①2009年度(22) ②MP6グループ
14	1072林班0041小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	3.88	①2009年度(22) ②MP5グループ
15	1072林班0045小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	7.04	①2009年度(22) ②MP6グループ
16(MP6)	1072林班0046小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	2.88	①2009年度(22) ②MP6グループ
17	1072林班0047小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	4.80	①2009年度(22) ②MP6グループ
18	1072林班0048小班	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	実測	昭和63年に小班毎に森林組合においてコンパスを用いて実測	植栽時・モニタリング時実施	○	植栽時・モニタリング時実施	1.04	①2009年度(22) ②MP6グループ

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
			各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入				モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明 を記入	測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする		
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)				測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入			想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググルー プ
1	1063林班 0006小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP1グループ
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	①モニタリングプロットMP1
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP1グループ
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP1グループ
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	①モニタリングプロットMP3
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP3グループ
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP3グループ
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP3グループ

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する小班 名を記入(同一小 班名は識別可能 な方法で記述)	各種係数 に対応する樹種 名を記入	方法論に 記載されてい るパラメータを 記入	モニタリン グ対象となる パラメータの 説明	測定方法・データ 把握方法を記入 (モニタリング 方法ガイドライン にあるパターン から選択)	パラメータを引用 する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付す ること 事業者自ら実 測を行う場合 は、具体的な 測定方法を記 入すること (記入された測 定方法により、 第三者が同じ 調査を実施で きるよう詳細 情報を記入の こと)	測定頻度 を記入	モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブレ ーション・点 検を行ったか 、また、行う かをチェック する	キャリブレ ーション・点 検実施・予定 日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①モニタリン グプロットの 記載 ②モニタリン ググループ
4	1063林班 0013小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP3グル ープ
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	①モニタリン グプロットMP 4
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP4グル ープ
6	1063林班 0015小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP2グル ープ
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	①モニタリン グプロットMP 2
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP2グル ープ
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP2グル ープ
9	1063林班 0020小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP1グル ープ
10	1071林班 0034小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の 補足情報に関 する報告書で 示された数値 を使用	モニタリン グ時	×	—	1.38	②MP5グル ープ



モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をVII 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検実施・予 定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググルー プ
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	①モニタリングプロットMP5
12	1072林班 0036小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP5グループ
13	1072林班 0038小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP6グループ
14	1072林班 0041小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP5グループ
15	1072林班 0045小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP6グループ
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	①モニタリングプロットMP6
17	1072林班 0047小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP6グループ
18	1072林班 0048小班	トドマツ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	1.38	②MP6グループ

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	各種係数に対応する樹種名を記入	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となるパラメータの説明	測定方法・データ把握方法を記入 (モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	パラメータを引用する場合は、詳細資料をⅦ備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できる)よう詳細情報を記入のこと	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検実施・予定日	キャリブレーション・点検実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①参考文献の説明 ②モニタリングプロットの記載 (グループの記載)
1	1063林班 0006小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP1グループ
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②モニタリングプロットMP1
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP1グループ
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP1グループ
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②モニタリングプロットMP3
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP3グループ
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP3グループ
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森林の平均的な林相、地形の箇所にプロットを設置し、毎木調査を実施する。地位級は市町村・樹種別地位管理表(地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録第6号 ②MP3グループ

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
			各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな るパラメー タの説明			測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブレ ーション・点 検を行っ たか、また、 行うかを チェックする		
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林実施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリン グ対象とな るパラメー タの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブレ ーション・点 検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検 実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①参考文献の説明 ②モニタリングプロット の記載 (グループの記載)
4	1063林班 0013小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP3グループ
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②モニタリングプロット MP4
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP4グループ
6	1063林班 0015小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP2グループ
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②モニタリングプロット MP2
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP2グループ
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP2グループ
9	1063林班 0020小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP1グループ
10	1071林班 0034小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP5グループ

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林実施を 実施したサイトの 通し番号)を記入	モニタリングポイントの 番号に対応する 小班名を記入 (同一小班名は識別 可能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①参考文献の説明 ②モニタリングプロット の記載 (グループの記載)
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②モニタリングプロット MP5
12	1072林班 0036小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP5グループ
13	1072林班 0038小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP6グループ
14	1072林班 0041小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP5グループ
15	1072林班 0045小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP6グループ
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②モニタリングプロット MP6
17	1072林班 0047小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP6グループ
18	1072林班 0048小班	トドマツ	i	地位級	実測に基づく方法	モニタリングマニュアルに沿って対象森 林の平均的な林相、地形の箇所にプ ロットを設置し、毎木調査を実施する。 地位級は市町村・樹種別地位管理表 (地位テーブル)を使用	モニタリング時	○	計測前に 毎回実施	地位級 6	①北海道「森林調査簿」附録 第6号 ②MP6グループ

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 実施したサイトの 通し番号)を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググループ
1	1063林班 0006小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP1グループ
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP1
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP1グループ
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP1グループ
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP3
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP3グループ
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP3グループ
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP3グループ
4	1063林班 0013小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP3グループ



モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考	
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施したサイト の通し番号)を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をVII 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググループ
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP4
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP4グループ
6	1063林班 0015小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP2グループ
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP2
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP2グループ
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP2グループ
9	1063林班 0020小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP1グループ
10	1071林班 0034小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP5グループ
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	Rratio	地上部に対する 地下部の比率	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP5

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ	測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考	
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググループ
12	1072林班 0036小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP5グループ
13	1072林班 0038小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP6グループ
14	1072林班 0041小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP5グループ
15	1072林班 0045小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP6グループ
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	①モニタリングプロットMP6
17	1072林班 0047小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP6グループ
18	1072林班 0048小班	トドマツ	Rratio	地上部に対す る地下部の比 率	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	京都議定書3条3及び4の下 でのLULUCF活動の補足情報 に関する報告書で示された数 値を使用	モニタリング時	×	—	0.21	②MP6グループ

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 実施したサイトの 通し番号)を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な方法 で記述)	各種係数 に対応する樹種 名を記入	方法論に 記載されて いるパラメータ を記入	モニタリ ング対象とな るパラメータ の説明	測定方法・データ 把握方法を記入 (モニタリング方法 ガイドラインにあ るパターンから選 択)	パラメータを引用 する場合は、詳細 資料をⅦ備考に添 付すること 事業者自ら実測 を行う場合は、具 体的な測定方法を 記入すること (記入された測定 方法により、第三 者が同じ調査を 実施できるよう 詳細情報を記入 のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング方法ガイド ラインを参照し、 測定機器のキャ リブレーション・ 点検を行ったか、 また、行うかを チェックする	キャリブ レーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①モニタリ ングプロットの 記載 ②モニタリ ンググループ
1	1063林班 0006小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP1 グループ
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	①モニタリ ングプロット MP1
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP1 グループ
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP1 グループ
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	①モニタリ ングプロット MP3
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP3 グループ
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP3 グループ
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP3 グループ
4	1063林班 0013小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF活動の補 足情報に関する 報告書で示され た数値を使用	モニタリ ング時	×	—	0.318	②MP3 グループ



モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検 実施・予定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①モニタリングプロット の記載 ②モニタリンググループ
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	①モニタリングプロットMP4
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP4グループ
6	1063林班 0015小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP2グループ
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	①モニタリングプロットMP2
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP2グループ
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP2グループ
9	1063林班 0020小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP1グループ
10	1071林班 0034小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP5グループ
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	①モニタリングプロットMP5

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタ リング対 象とな るパラ メータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参 照し、測定 機器のキャ リブレー ション・点 検を行っ たか、また 、行うかを チェックす る	キャリブ レーション ・点検 実施・予 定日	想定吸収 量の算定 に使用し た値を記 入	①モニタ リング プロット の記載 ②モニ タリング グループ
12	1072林班 0036小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP5グループ
13	1072林班 0038小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP6グループ
14	1072林班 0041小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP5グループ
15	1072林班 0045小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP6グループ
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	①モニ タリング プロット MP6
17	1072林班 0047小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP6グループ
18	1072林班 0048小班	トドマツ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF活動の補足情報に 関する報告書で示された数値 を使用	モニタリング時	×	—	0.318	②MP6グループ

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

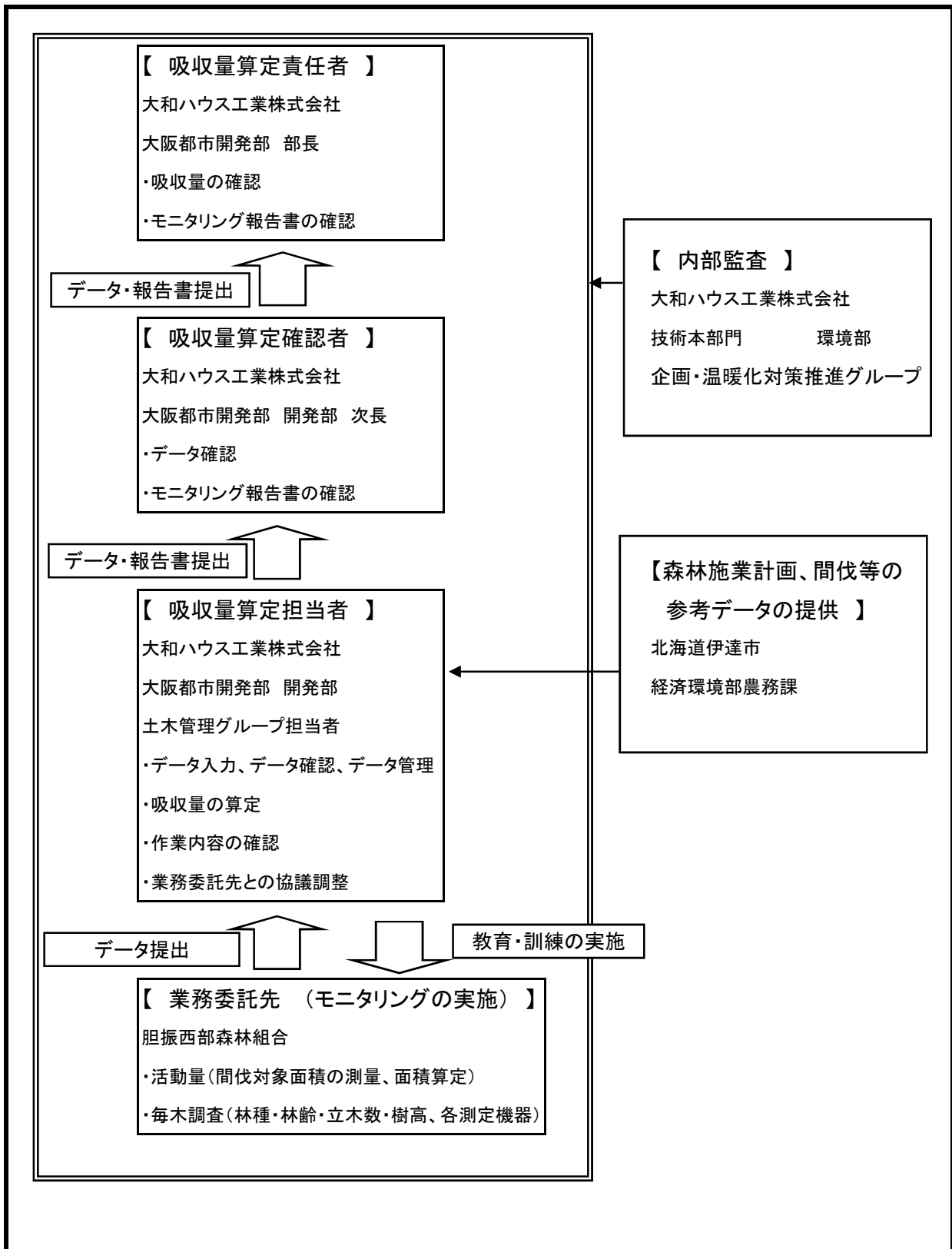
モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実施したサイトの 通し番号)を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応する 樹種名を 記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレ ーション・点 検 実施・予定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①間伐施業年(林齢) ②モニタリンググル ープ ③除外地の説明
1	1063林班 0006小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	①2011年度(29) ②MP1グループ ③小班から高圧線下 を除外
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 －林齢28年の蓄積	モニタリング時	×	－	5	①2011年度(28) ②MP1グループ
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 －林齢28年の蓄積	モニタリング時	×	－	5	
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 －林齢28年の蓄積	モニタリング時	×	－	5	
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	①2010年度(29) ②MP3グループ ③小班から高圧線下を 除外し分割
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	
4	1063林班 0013小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 －林齢29年の蓄積	モニタリング時	×	－	7	①2010年度(29) ②MP3グループ

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番 号)を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を 記入(同一小 班名は識別 可能な方法 で記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリ ング方法 ガイドラ インにあ るパター ンから選 択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング方 法ガイ ドライン を参照 し、測定 機器の キャリ ブレー ション ・点検 実施・ 予定日	キャリブ レー ション ・点検 実施・ 予定日	想定吸 収量の 算定に 使用 した値 を記入	①間伐 施業年 (林齢) ②モニ タリ ング グル ープ ③除 外地 の説 明
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 -林齢29年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	7	①2010 年度(29) ②MP4 単独 ③小班 から高 圧線下 を除外 し分割
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 -林齢29年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	7	①2010 年度(29) ②MP4 単独 ③小班 から高 圧線下 を除外 し分割
6	1063林班 0015小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 -林齢28年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	5	①2010 年度(28) ②MP2 グル ープ
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 -林齢28年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	5	①2010 年度(28) ②MP2 グル ープ
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 -林齢29年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	5	①2011 年度(29) ②MP2 グル ープ ③小班 から高 圧線下 を除外 し分割
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢30年の蓄積 -林齢29年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	5	①2011 年度(29) ②MP2 グル ープ ③小班 から高 圧線下 を除外 し分割
9	1063林班 0020小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢29年の蓄積 -林齢28年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	5	①2011 年度(28) ②MP1 グル ープ
10	1071林班 0034小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢23年の蓄積 -林齢22年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	3	①2009 年度(22) ②MP5 グル ープ
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テーブル)を使用	林齢23年の蓄積 -林齢22年の蓄積	モニタリ ング時	×	-	3	①2009 年度(22) ②MP5 グル ープ

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパター ン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタ リング対 象とな るパラ メータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施できる よう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参 照し、測定 機器のキャ リブレーシ ョン・点検 を行ったか 、また、行 うかをチ ェックす る	キャリブ レーション ・点検実 施・予定日	想定吸収 量の算定 に使用し た値を記 入	①間伐施 業年(林 齢) ②モニタ リンググ ループ ③除外 地の説明
12	1072林班 0036小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP5 グループ
13	1072林班 0038小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP6 グループ
14	1072林班 0041小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP5 グループ
15	1072林班 0045小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP6 グループ
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP6 グループ
17	1072林班 0047小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP6 グループ
18	1072林班 0048小班	トドマツ	Trunk sc	幹材積の 年間成長 量	市町村・樹種別地位管理 表(地位テ ーブル)を 使用	林齢23年 の蓄積 －林齢22 年の蓄積	モニタ リング 時	×	－	3	①2009 年度(22) ②MP6 グループ

### IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



## V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

### (1) 教育訓練

- ・「プロジェクト開始届」提出時に吸収量算定責任者・吸収量算定確認者・吸収量算定担当者が研修会を実施し、制度理解を深めプロジェクトを実施する。
- ・モニタリング開始前に吸収量算定確認者と吸収量算定担当者が、業務委託先に対しモニタリングの目的、手順、測定機器の操作方法の研修会を実施する。
- ・モニタリング開始時は、吸収量算定責任者・吸収量算定担当者とが業務委託先と共同してモニタリング調査を実施する。

### (2) 情報の保管

- ・使用したデータは、吸収量算定担当者が同担当者のローカルパソコンで電子データ化する。
- ・電子データ化された資料・データは、大和ハウス工業株式会社 情報部門 情報システム部内のサーバーに保管する。  
なお、保管期限は平成35年3月31日までとする。
- ・サーバー内の保存データの管理は、吸収量算定担当者及び大和ハウス工業株式会社 情報システム部と共同して実施する。

### (3) データの確認

- ・吸収量算定確認者と吸収量算定担当者が、モニタリング時に現地調査野帳と算定ファイルを突合せ、使用した係数等の妥当性の確認、他の関係データとの比較、経年的なデータ変化や林間の比較等を行い、恣意的なデータやデータの異常がないか確認する。
- ・確認作業は正確性を高めるため、吸収量算定確認者と吸収量算定担当者が各々確認作業にあたり、その頻度はデータ入力時、報告書作成時と2回実施する。

### (4) 内部監査

- ・チェックミスを見落とさないよう担当部署での内部監査は実施しない。内部監査を実施する部署は大和ハウス工業株式会社の技術部門・環境部、企画・温暖化対策推進グループとする。
- ・データのモニタリング及び収集、純吸収量の算定、報告、チェック等の一連の報告プロセスの信頼性を維持・向上させるためモニタリング体制、ガイドライン等に対し、適切に実施されているか、効率よく機能しているか定期的に確認する。  
課題検討等の問題点がある場合、是正措置・予防措置等の必要な措置を関係者に対し実施する。
- ・監査時期は、報告書完了時実施する。

### (5) 測定機器の維持・管理

- ・モニタリング業務は委託するが、委託先へ制度の周知徹底を実施し測定機器の維持管理は適切に実施する。
- ・キャリブレーションが必要な機器については、説明書に従ってキャリブレーションを行い、またモニタリング調査時には再度点検し動作確認する。
- ・キャリブレーション結果の実施記録は、業務委託者が原本をプロジェクト事業者は写しを残す。
- ・キャリブレーションの方法
  - 高さ(樹高測定器)
    - 既知の高さまたは測竿またはメジャー実測地と測定値の比較。
    - 合格基準: 誤差0.1m以内
  - 距離(巻尺、輪尺)
    - 既知の距離と測定値の比較。
    - 合格基準: 誤差0.01m以内
  - 面積(ポケットコンパス)
    - 任意ポイント2点間の角度を測り、逆視して角度を測り誤差の有無を確認する
    - 誤差が発生した場合、メーカーに調整を依頼する。
    - 合格基準: 小数点第一位まで一致
  - 座標面積(ポータブルGPS)
    - 上空が開けた晴天時に緯度経度が既知の基準点で観測する。標高は計測しない。
    - 合格基準: 5m以内
    - ポータブルGPSを用いる場合、閉合誤差はコンパスと同様の5/100までとする。

※独自の様式や手順書等を作成している場合には本様式に添付しても良い。



VI. 誤差の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m3/年)	誤差
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサイ トの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を 記入(同一 小班名は識 別可能な方 法で記述)	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象とな る小班の面積 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている面積 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 拡大係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている拡大 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種のR 率を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れているR率 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 容積密度を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている容積 密度の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 炭素係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている炭素 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	各都道府県 において使用 される収穫予 想表から適切 なものを選定 し記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている収穫 予想表の誤 差のデフォ ルト値を記入
1	1063林班 0006小班	トドマツ	4.16	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	7.20	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	7.32	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	9.48	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	3.74	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	0.36	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	0.50	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	1.12	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%



モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m3/年)	誤差
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサ イトの通し番 号)を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を 記入(同一 小班名は識 別可能な方 法で記述)	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象とな る小班の面積 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている面積 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 拡大係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている拡大 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種のR 率を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れているR率 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 容積密度を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている容積 密度の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 炭素係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている炭素 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	各都道府県 において使用 される収穫予 想表から適切 なものを選定 し記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている収穫 予想表の誤差 のデフォルト 値を記入
4	1063林班 0013小班	トドマツ	13.52	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	6.68	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	1.57	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	7	30.0%
6	1063林班 0015小班	トドマツ	12.40	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	3.60	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	5.81	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	0.89	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
9	1063林班 0020小班	トドマツ	0.84	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	6	30.0%
10	1071林班 0034小班	トドマツ	2.60	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	5	30.0%

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m3/年)	誤差
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサ イトの通し番 号)を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を 記入(同一 小班名は識 別可能な方 法で記述)	植栽され ている樹 種名を記 入	申請対象とな る小班の面積 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている面積 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 拡大係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている拡大 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種のR 率を記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れているR率 の誤差のデ フォルト値を 記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 容積密度を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている容積 密度の誤差 のデフォルト 値を記入	方法論に記 載されている 対象樹種の 炭素係数を記 入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている炭素 係数の誤差 のデフォルト 値を記入	各都道府県 において使用 される収穫予 想表から適切 なものを選定 し記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている収穫 予想表の誤差 のデフォルト 値を記入
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	2.52	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	5	30.0%
12	1072林班 0036小班	トドマツ	1.80	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
13	1072林班 0038小班	トドマツ	3.52	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
14	1072林班 0041小班	トドマツ	3.88	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
15	1072林班 0045小班	トドマツ	7.04	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	2.88	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
17	1072林班 0047小班	トドマツ	4.80	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%
18	1072林班 0048小班	トドマツ	1.04	10.0%	1.38	3.9%	0.21	14.2%	0.318	2.4%	0.5	2.0%	4	30.0%

VI. 誤差の計算

全体の誤差 = 9.5%

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	VI-1 誤差(入カシートのパラメータから計算 =a * b * d * e * f * 44/12	VI-2 誤差(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1 誤差(入カシート)のc(R率)を乗じて計算 =地上部バイオマス * c	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている係数の誤差のデフォルト値を記入	次式により計算 =SQRT(活動量^2+係数^2)
1	1063林班 0006小班	トドマツ	23.4	4.9	28.3	10.0%	33.6%	35.0%
2-1(MP1)	1063林班 0009-1小班	トドマツ	34.8	7.3	42.1	10.0%	33.6%	35.0%
2-2	1063林班 0009-2小班	トドマツ	35.3	7.4	42.8	10.0%	33.6%	35.0%
2-3	1063林班 0009-3小班	トドマツ	45.8	9.6	55.4	10.0%	33.6%	35.0%
3-1(MP3)	1063林班 0012-1小班	トドマツ	21.1	4.4	25.5	10.0%	33.6%	35.0%
3-2	1063林班 0012-2小班	トドマツ	2.0	0.4	2.5	10.0%	33.6%	35.0%
3-3	1063林班 0012-3小班	トドマツ	2.8	0.6	3.4	10.0%	33.6%	35.0%
3-4	1063林班 0012-4小班	トドマツ	6.3	1.3	7.6	10.0%	33.6%	35.0%
4	1063林班 0013小班	トドマツ	76.1	16.0	92.1	10.0%	33.6%	35.0%

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポ イントの番号 (間伐等の森林施 業を実施したサイ トの通し番号)を 記入	モニタリングポ イントの番号に対 応する小班名を記 入 (同一小班名は識 別可能な方法で記 述)	植栽され ている樹 種名を記 入	VI-1 誤差(入カシ ートのパラメータ から計算 =a*b*d*e*f* 44/12	VI-2 誤差(算定結 果)の地上部バイ オマスにVI-1 誤 差(入カシートの c(R率)を乗じて 計算 =地上部バイオマ ス * c	地上部バイオマ スと地下部バイ オマスの合計	モニタリング方 法ガイドラインに 記載されている 面積の誤差のデ フォルト値を記 入	モニタリング方 法ガイドラインに 記載されている 係数の誤差のデ フォルト値を記 入	次式により計算 =SQRT(活動量^2+ 係数^2)
5-1(MP4)	1063林班 0014-1小班	トドマツ	37.6	7.9	45.5	10.0%	33.6%	35.0%
5-2	1063林班 0014-2小班	トドマツ	8.8	1.9	10.7	10.0%	33.6%	35.0%
6	1063林班 0015小班	トドマツ	59.9	12.6	72.4	10.0%	33.6%	35.0%
7(MP2)	1063林班 0016小班	トドマツ	17.4	3.6	21.0	10.0%	33.6%	35.0%
8-1	1063林班 0019-1小班	トドマツ	28.0	5.9	33.9	10.0%	33.6%	35.0%
8-2	1063林班 0019-2小班	トドマツ	4.3	0.9	5.2	10.0%	33.6%	35.0%
9	1063林班 0020小班	トドマツ	4.1	0.9	4.9	10.0%	33.6%	35.0%
10	1071林班 0034小班	トドマツ	10.5	2.2	12.7	10.0%	33.6%	35.0%
11(MP5)	1071林班 0035小班	トドマツ	10.1	2.1	12.3	10.0%	33.6%	35.0%
12	1072林班 0036小班	トドマツ	5.8	1.2	7.0	10.0%	33.6%	35.0%

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス 値(t-CO2/年)	地下部バイオマス 値(t-CO2/年)	合計 値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポ イントの番号 (間伐等の森林施 業を実施したサイ トの通し番号)を 記入	モニタリングポ イントの番号に対 応する小班名を 記入 (同一小班名は 識別可能な方法 で記述)	植栽され ている樹 種名を記 入	VI-1 誤差(入カ シート)のパラメ ータから計 算  =a*b*d*e*f* 44/12	VI-2 誤差(算定 結果)の地 上バイオマスに VI-1 誤差 (入カシート)の c(R率)を乗 じて計 算  =地上部バイオ マス * c	地上部バイオ マスと地下部 バイオマスの 合計	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている面積 の誤差のデ フォルト値を 記入	モニタリング 方法ガイドラ インに記載さ れている係数 の誤差のデ フォルト値を 記入	次式により計 算 =SQRT(活動量 ^2+係数^2)
13	1072林班 0038小班	トドマツ	11.3	2.4	13.7	10.0%	33.6%	35.0%
14	1072林班 0041小班	トドマツ	12.5	2.6	15.1	10.0%	33.6%	35.0%
15	1072林班 0045小班	トドマツ	22.7	4.8	27.4	10.0%	33.6%	35.0%
16(MP6)	1072林班 0046小班	トドマツ	9.3	1.9	11.2	10.0%	33.6%	35.0%
17	1072林班 0047小班	トドマツ	15.4	3.2	18.7	10.0%	33.6%	35.0%
18	1072林班 0048小班	トドマツ	3.3	0.7	4.0	10.0%	33.6%	35.0%

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス値(t-CO2/年)	地下部バイオマス値(t-CO2/年)	合計値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	VI-1 誤差(入力シート)のパラメータから計算 $=a * b * d * e * f * 44/12$	VI-2 誤差(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1 誤差(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 $=地上部バイオマス * c$	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている係数の誤差のデフォルト値を記入	次式により計算 $=SQRT(活動量^2+係数^2)$

参考: 誤差 記入例

モニタリングポイント、小班名、樹種、面積、拡大係数、R率、容積密度、炭素係数、収穫予想表の値を下記のとおり記入し、モニタリング方法ガイドラインより、それぞれの誤差の値をVI-1誤差(入力)シートに入力する。これにより、誤差の値は、VI-2誤差(算定)シートにおいて、自動的に計算される。(下記記入例において、「不確実性」は「誤差」と読み替える)

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値 (ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値 (m3/年)	不確実性
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入 (同一小班名は識別可能な方法を記入)	植栽されている樹種名を記入	申請対象となる小班の面積を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている拡大係数の不確実性のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種のR率を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されているR率の不確実性のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の容積密度を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている容積密度の不確実性のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の炭素係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている炭素係数の不確実性のデフォルト値を記入	各都道府県において使用される収穫予想表から適切なものを選定し記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている収穫予想表の不確実性のデフォルト値を記入
1	〇〇小班 XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1	10小班イ	スギ	25.02	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5	22.2%
2	11小班イ	ヒノキ	29.50	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
2	11小班ロ	ヒノキ	0.90	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
3	13小班イ	スギ	1.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%

## Ⅶ. 備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。  
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。  
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。